

「東京都の判定員登録をしたものの、実際にどう動くのか？」

という疑問にお応えします。

判定員一人一人のスキルアップはもちろん重要ですが、同時に次の点も重要なポイントです。

- ・行政・団体・判定員・区民の役割について
- ・地震発生→出動要否判断→出動要請→招集→派遣→実施→報告などのプロセスについて

最近、熊本市、大阪府、北海道と大きな地震が立て続けに起こっており、ここ東京でも憂いがあります。

「備えあれば、憂いなし」 是非、判定員としてのスキルを磨きませんか。

日 時 2019年3月18日(月) 18時00分～20時00分 受付開始 17時30分

会 場 工学院大学新宿キャンパス (3階アーバンテックホール)

対 象 新宿区在住又は在勤の「東京都防災ボランティア制度に基づく被災建築物応急危険度判定員」

定 員 60名



map

プログラム

1. 応急危険度判定制度の概要と判定手法 (80分) 東京都多摩建築指導事務所建築構造専門課長 大熊久理子様

2. 熊本地震での判定体験談 (20分) 東京建築士会新宿支部正会員/タキロンシーアイ(株) 磯永聖次様

受講料 主催団体会員 500円 / 一般 1000円 (資料代。当日受付にてお支払ください。)

主催 東京建築士会新宿支部・東京都建築士事務所協会新宿支部・JIA 新宿地域会・工学院大学 / 後援 新宿区

持ち物 筆記用具、応急危険度判定員手帳

申込み締切 3月10日(水) (先着順)

申込み方法 以下の(1)～(5)をメール本文に記載して事務局(shikai.shinjuku@gmail.com)宛にお送り下さい。

※満席でお申込みを受け付けできなかった場合のみ返信いたします。

メール件名 「3月18日応急危険度判定員講習会へ参加申込」

(1)氏名(ふりがな) :

(2)連絡先メールアドレス :

(3)連絡先電話番号 :

(4)新宿区内の勤務先住所・名称(またはご自宅住所) :

(5)所属(該当しないものを削除してください)

・東京都防災ボランティア登録 No. ()

・東京建築士会新宿支部 ・東京都建築士事務所協会新宿支部 ・JIA 新宿地域会

・その他 ()

問合せ先 : 東京建築士会新宿支部 応急判定セミナー事務局 (shikai.shinjuku@gmail.com)

※本申込書に記載いただいた情報は適切に管理し本セミナーの運営、主催および後援団体が開催する他イベントの案内・紹介のために利用場合があります。

※東京都防災ボランティア制度に基づく被災建築物の応急危険度判定制度とは、建築技術者が予め所定の講習を受け、地震後、行政等の招集に応じて、余震等による建築物の倒壊や落下物、転倒による二次災害を防止するため建築物の被災状況を調査し当面の使用の可否について判定する制度です。